

竹パウダーで生ごみリサイクルと里地里山保全

# ダンボールコンポストをはじめよう



ダンボールコンポストの基材は、竹パウダーとそば殻くん炭です。竹パウダーの産地は町田市のため、私たちの住む多摩地域の里地里山の保全活動にもなります。

ダンボールコンポストセットの製作・配達は、障害福祉サービス事業所「ふらっと・すすかけ」が、布カバーの製作は高齢者ふれあいサロン「談話室ひなたぼっこ」が行っており、就労支援に繋がっています。

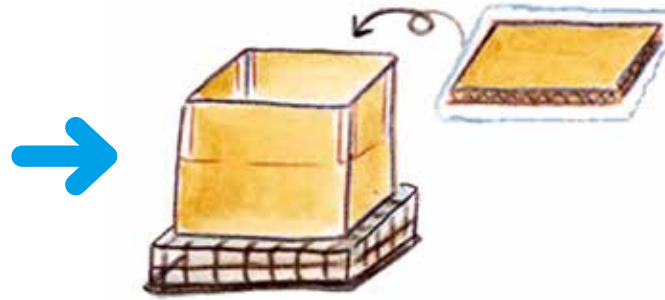
日野市 環境共生部 ごみゼロ推進課

布カバーと  
組み立てた  
ダンボール

竹パウダー9ℓ・  
そば殻くん炭6ℓ



※底板はダンボール箱の底に敷く。  
(ポリ袋に包んだまま)



## 1 自分で用意するもの

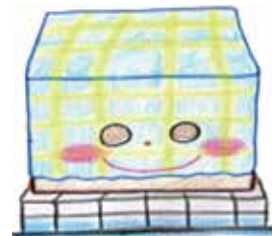
- 風通しをよくする台  
(花屋に置いてある苗カゴが便利)
- ゴム手袋またはシャベル  
(ダンボールを傷つけないように先が丸いものがよい)
- 温度計  
(発酵している温度がわかります)

### セットに入っているもの

- ・ダンボール箱
- ・基材 (竹パウダー9ℓ・そば殻くん炭6ℓ)
- ・布カバー (虫除け用)
- ・底板 (ポリ袋に包んだまま使用)

## 2 はじめる前の準備

- ダンボール箱の底に底板を敷く。
- 基材が袋に入っている状態で、水を500ml~1ℓ入れてかき混ぜる。
- 基材をダンボール箱に入れ、均等になるようにかき混ぜる。
- 風通しをよくする台に乗せる。
- 雨のあたらない場所に置く。  
(雨が吹き込む場合は、雨の時だけビニールシートなどをかぶせます)



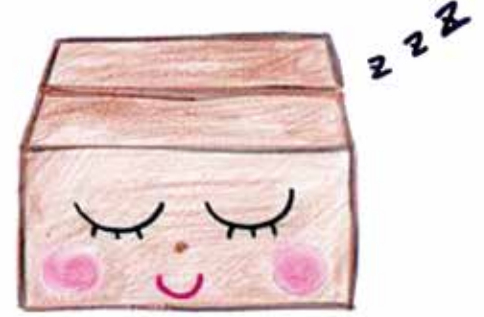
## 3 生ごみを入れましょう

- 真ん中を掘る。
- 掘った所に生ごみを入れる。
- 生ごみに基材を混ぜる。  
※コツは「真ん中埋め」。全体をかき混ぜると、分解が遅くなります。
- まわりの基材をかぶせる。
- 布カバーをかぶせる。

### 〈投入の際の注意〉

- ・生ごみは細かくしておくとう分解が早い
- ・水切りは不要
- ・生ごみの量は1日500gが目安 (キャベツの玉の半分が約500g。これより少なくてもOK)
- ・貝殻や鶏の骨、腐っているものは入れない
- ・生ごみを入れない日があってもOK

ゴロゴロしたかたまりがある状態



## 4 次の生ごみを入れる前に

全体をまんべんなくかき混ぜます。  
→空気を供給することで微生物による分解を促します

### 〈投入後の注意〉

- ・発酵温度は50℃以上になることも。逆に冬季は10℃以下のときもある
- ・白いカビがでるのは、うまく発酵している証拠！

## 5 生ごみを入れられなくなる目安

基材にゴロゴロとかたまりができるようになったり、分解が遅くなってきたら生ごみの投入は止めましょう。目安は生ごみを入れてから3～5か月(生ごみの投入量により変わります)。

## 6 熟成

基材を別のダンボール箱などに移してフタをし、約1～2か月間熟成させます。

### 〈熟成中の注意〉

- ・熟成中も1～2週間に一度くらい水を加えてかき混ぜ、しっとり気味を保つ。生ごみがほとんど目では確認できないくらい完全に分解し、さらさらになれば完熟たい肥のできあがり
- ・空いたダンボール箱は、新しい基材を入れて、新たにスタート！

### ダンボールコンポストは目に見えない微生物が生ごみを分解します

ポイント

- ・微生物は水分率50～60%で働きやすいため、乾燥気味の時には水を補給します。しっとり気味を保ちましょう。★裏面参照
- ・外気温以上の発酵熱ができれば順調に分解しています。
- ・冬季は微生物の活動が鈍くなり、分解が遅く温度も上がりませんが、分解はゆっくり進んでいます。できるだけ暖かい場所に置き、一握りの量の米ぬかや天かす、コップ1杯程度の廃食油などを入れると温度が上がります。
- ・虫の侵入を防ぐため、必ず布カバーをして下さい。

### 完熟たい肥の使い方

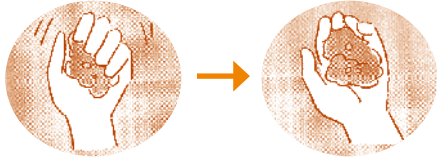
- ・たい肥1に対して土4の割合で使用します。
- ・一度使った古い土でも、たい肥を混ぜることで再利用できます。
- ・追肥としても使えます。



## よくある質問

### 水分率50%～60%の目安

基材をギュッと握って開くと、団子状になった基材が2つに崩れるくらいが良い状態。



ギュッと握りしめる

手を広げると  
2つくらいに崩れる

### 使用中の ダンボールコンポストの様子



使用して2週間目。かき混ぜると前日の生ごみがまだ残っています。



3か月以上使用。生ごみ投入総量40kg以上。基材の色が濃くなり、かたまりも見られます。生ごみの分解が遅くなっているようでしたら生ごみ投入を止めましょう。熟成させて、たい肥へ。新しい基材でダンボールコンポストを始めましょう。

### Q 入れてはいけないもの

A 基本的に生ごみ以外のプラスチック類や紙類、煙草の吸い殻など微生物が分解できないもの。貝殻や鶏の骨なども分解が遅いため入れないください。

魚の骨や頭は入れてもOKです。柑橘類の皮は油脂分を含み発酵を促進しますので、小さく切って入れるとよいです。卵の殻はつぶして細かくすれば大丈夫です。

### Q 分解が遅いときは

A 生ごみの水分率は約90%と多く、生ごみを入れすぎると水分量が上がり分解が進まなくなります。その場合は乾燥した竹パウダーを足してよく混ぜてください。逆に、乾燥しすぎても分解が遅くなりますので、水分を足しましょう。分解が遅いときは、米ぬかや天かす、廃食油などを入れると温度が上がります。

### Q 虫の発生を防ぐには

A 布カバーをして虫の侵入を防ぎましょう。布カバーに卵を産みつけている場合が多く、布カバーをはずす前にハケなどで布カバーやその周りをよく掃いておくと、卵がダンボールコンポストの中に入るのを防げます。布カバーの上に虫取り粘着テープを置いておくのも効果的です。

もし虫が発生してしまったら、その基材を全て大きなビニール袋に移し替え、袋ごと天日干しをして死滅させます。

## 購入について

### ◆価格（配達料込）

#### ●ダンボールコンポストセット

補助金適用で

2,340円 → **500円**

#### ●基材のみ

補助金適用で

1,015円 → **250円**



### ◆補助金を適用しての購入可能数

※ご家族全員がそれぞれ購入できます

#### ●ダンボールコンポストセット

1人1年度で2つまで

#### ●基材のみ

1人1年度で4つまで

### ◆申込先

〒191-0021 日野市石田1-210-2  
日野市環境共生部ごみゼロ推進課  
電話 042-581-0444  
E-Mail gomizero@city.hino.lg.jp

配達は「ふらっと・すずかけ」が行います。  
配達日は電話でお知らせします。TEL042-594-9320

### たい肥回収サービス

生ごみたい肥は、畑や花壇で活用できますが、使用されない方は、基材購入時にお引き取りしますので、お申し出ください。